１　プロジェクト第１号の取組

⑴　連携先　　株式会社フルノシステムズ

⑵　プロジェクト名

「総合教育センターの教職員向けフリーWi-Fi の構築支援と施行」

⑶　期間　令和元年３月～令和２年３月

⑷　プロジェクトの目的

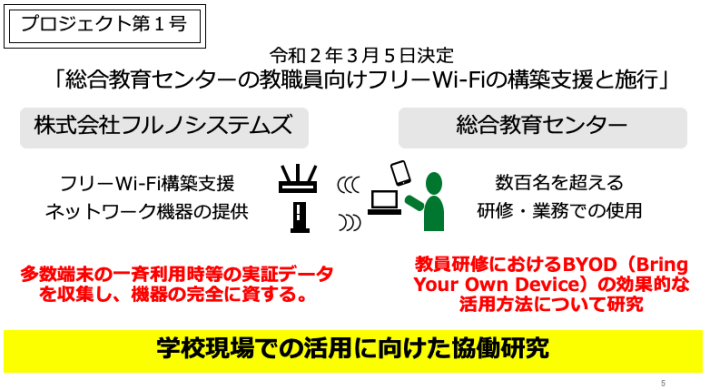
教職員が、研修用端末と BYOD 端末を研修活動により使い分け、いつでも安定的に利用できる状態とするために、BYOD 端末の利用に必要な回線、ネットワーク機器、設定等を調査完了、把握した状態をゴールとする。

⑸　プロジェクトの計画

時期	取組内容	詳　細	センターとの関わり
R1.3	・フリーWi-Fi 環境を構築 ・サービス開始	・AP スイッチ、ルーター搬入、設定、設置 ・システム動作確認 ・サービスエリア確認	・BYOD 専用回線の敷設と提供 ・センター既設 LAN の提供 ・AP、スイッチ、ルーターの設置支援
R2.4 ～ R3.2	・サービス状況ヒアリング ・運用サポート、トラブルシュート	・随時ヒアリング、サポートの実施	・利用状況についての情報提供 ・トラブルについての情報提供
R3.3	・サービス終了 ・プロジェクト成果報告 ・フリーWi-Fi 環境撤収	・ヒアリング、トラブル内容のレポート ・機器撤去、搬出	・レポート作成支援 ・機器撤去後の原状回復支援

⑹　これまでの取組

株式会社フルノシステムズから無償で AP スイッチ、ルーター等のネットワーク機器を貸与してもらい、研修等における、自己所有のスマートフォンやタブレット等を効果的に活用する方法（ＢＹＯＤ）についての研究を進めた。次の図は、このプロジェクトの概要を表したものである。このプロジェクトにより、フルノシステムズは、多数端末の一斉利用時等の実証データの収集を行うことができる。ルーター等の機器のネットワークの付加の状況を知ることで、自社の製品の品質の向上に生かすことができる。一方、センターでは、教員研修等でフリーWi-Fi を活用することができる。



令和２年度の研修において、積極的に ICT を活用した研修等を企画していたのだが、新型コロナウイルス感染症のため、研修の実施が制限されてしまった。１度目の緊急事態宣言の解除後は感染症対策を十分に行った上で、研修を実施し、フリーWi-Fi の活用を進めた。

①フリーWi-Fi を活用した受付の導入

混雑を回避するため、「 Google Forms 」を活用した受付を導入することにした。研修を受講する教職員は、資料を取り会場に入室し、自席で自己所有のスマートフォンで情報を入力するようにしている。受講する教職員に、Wi-Fi のパスワード等を紹介し、個人の通信量の負担を減らしている。

受付システムの構築により、混雑回避及び集計の効率につながっている。

②フリーWi-Fi を活用した研修の実施

研修におけるフリーWi-Fi の活用では、受講者へ講義資料をネットワークを介して提供した。また、学習で活用できる動画を、各自の端末で適宜、視聴できるよう動画の紹介をした。さらに、実際の授業場面を想定し、学習課題を自己所有のスマートフォンやタブレット等に配布し、グループで協議する研修も実施した。「 G Suite 」を用いて協議内容を共同で編集しながら取り組ませることもできた。

③センター所員のフリーWi-Fi の活用

フルノシステムズから貸与されたネットワーク機器で構築したフリーWi-Fi は、研修を受講する教職員だけでなく、センター所員も活用することができた。センター所員は自己所有のタブレット等を用いて研修の準備や動画の作成及び編集に取り組んだ。

⑺ 成果と課題

○受付時における混雑回避につながるとともに、集計作業の効率化につながった。
○授業場面を想定した個人端末の活用方法、活用におけるトラブルなどの改善方法などを検討することができた。
○個人所有のパソコンやタブレットを活用し、動画の編集、資料作成に取り組んだことで、作業効率が上がるとともに、センター所員の ICT 機器を活用するスキルが向上した。
●新型コロナウイルス感性症に伴う２度の緊急事態宣言のため、多くのセンターにおける集合型研修が中止となった。そのため、研修方法が大幅変更となり、予定していた研究が進まなかった。
●上記により、多人数での一斉アクセスのデータなどが、予定どおりに収集することができなかった。